



# 時代とともに変化した家事室 あったら便利、毎日が楽しくなる! そんな新しい家事室をご提案!



「家事室」と聞くと、洗濯物の整理やアイロン掛けなど、日々の家事をこなす奥さま専用の作業場というイメージですが、現代の「家事室」は生活スタイルにあわせて少し変化してきています。家事は女性だけの仕事ではなく家族で分担することが当たり前になってきたことで、「家事室」は奥さまの仕事を軽減するための作業場から、家族みんなで料理を作ったり、掃除や片付けを協力するコミュニケーションの場として利用されています。

## 家事室の配置



家事室をつくることで、家事動線を効率化することができます。洗濯や掃除、料理などの家事の時短にもおおいに役立つこととなります。

そこで、家事室の設置場所が重要になります。台所仕事と洗濯、掃除のどれを重視するかにもよりますが、なるべく家族の誰もが出入りしやすく、どこからも近く、動きやすい動線を考えた配置がベストです。

空間になります。つまり、「家事室」は家事を効率良くこなし、家族とのだんらんの時間を大切にするための「家族みんなの空間」と考えてください。

## 家事室の使い方



「家事室」を設けることで、家事機能を集中させ、今まで以上にリビングダイニングなどを使いやすくなることが可能になります。

「家事室」は文字通り家事を便利にこなすための部屋ですが、家族全員が使うユーティリティ・スペースと考えれば、兄弟と一緒に宿題や勉強をする部屋、あるいはお父さんのDIYの作業室にもなります。最近では夫婦共働き家庭が大半です。奥さまが仕事のための部屋を必要としているケースもあります。また、ご主人が趣味のために個室を使う場合もあります。考え方を変えれば、「家事室」は家族みんなのワークスペースとなり、だれが何のために使うかという固定概念は必要ないのです。

## 家事室の役割



例えば、奥さまが洗濯物を畳む場所は、リビングが多いのではないのでしょうか。そのため洗濯物を片付けるまでリビングダイニングが使えなかったり、散らかったりして不便に感じることも多いようです。

家族だんらんのリラックスできる空間と、仕事としての家事をこなす場を明確に分けることで、現代の「家事室」は過ごし方や時間を上手に区切ることのできる

## 家事室の実例



### まるでショップのような オシャレな家事室

「家事室」を“隠す部屋”から“見せる部屋”に…。奥さまの好みのアンティークな家具や小物で設えた「家事室」なら、あえてリビングから見えるような仕掛けも可能です。

### ファミリークローゼットの ある家事室

衣装部屋としての「家事室」。バスルームの近くに設ければ、洗濯が楽になったり、アイロン掛けの後、そのままクローゼットに収納することができます。とくに衣替えなどのシーズンには効力を発揮します。

### パントリーやワインセラーを 併設した家事室

パントリーやワインセラーを設けたレストランのような「家事室」。「今日はパスタにしようか?ワインはどれにしようか?」など、ディナーを楽しむことも。レシピ本やパソコンを置けるスペースがあれば万全です。



ママとパパとワタシにやさしい展示場。

山陽新聞 住宅展示場

迷ったら、経験豊富な  
ハウスメーカーにご相談を!